研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-161		19-008	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

Using Rural-Urban Continuum Codes (RUCCS) to Examine Alcohol-Related Motor Vehicle Crash Injury and Enforcement in New York State.

農村部・都市部連続体コード (RUCCS)を使用した、ニューヨーク州における飲酒運転事故による負傷と処罰の調査

執筆者

Pressley JC, Hines LM, Bauer MJ, Oh SA, Kuhl JR, Liu C, Cheng B, Garnett MF.

掲載誌

Int J Environ Res Public Health. 2019 Apr 15;16(8). pii: E1346. doi: 10.3390/ijerph16081346.

キーワード	PMID
農村部の健康、交通事故、負傷、飲酒、交通違反と罰則	30991657

要　旨

目的：

ニューヨーク州(NYS)の農村部では都市部に比べ飲酒運転事故による負傷が多い。NYS では 3 地域にまたがって飲酒関連の負傷が減少しているが、農村部の減少が少ない。本研究の目的は、CODES(自動車事故と医療機関受診情報を連結するシステム)や交通違反通知、人口統計、経済、交通機関、アルコール販売店、農村部・都市部の連続体コード (RUCCS)といった郡レベルの多数の情報データを用いて、アップステートとロングアイランドにおける飲酒関連事故と関連する因子について調べることである。

方法：

横断研究のデザインで、ゼロ切断負の二項回帰モデルを用いてカテゴリ間の飲酒関連事故相対リスク(RR)ならびに 95%信頼区間(CI)を評価した。57 の郡において 3 年で 56,000 の飲酒関連事故が見られたが、この郡を年間の平均飲酒事故負傷数(100,000 あたり)で低い(24.7±3.9)・中間(33.9±1.7)・高い(46.1±8.0)の 3 群に分けた($p<0.0001$)。

結果：

多変量解析において、飲酒関連事故による負傷は隣接しない非都市部の郡で多く(RR 2.5, 95%CI: 1.6-3.9)、交通違反通知の多さは小さいながらも有意に飲酒関連事故の抑制効果を示していた。都市化の進んでいない地域では飲酒運転に対する強制措置が一貫しておらず、飲酒関連事故による傷害が多かった。

結論：

非都市部の郡における飲酒関連事故傷害率の高さは、都市部地域に近いほど事故抑制措置が取られている事を示している。これらの結果より、飲酒関連事故による負傷を減らす介入を行うべき地域が示唆される。